

平成 24 年 1 月 18 日

平成 23 年度「拡大医療改革委員会」兼 「産婦人科医療改革 公開フォーラム」

主催：公益社団法人日本産科婦人科学会・厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究」（研究代表者：海野信也）

場所：東京ステーションコンファランス (<http://www.tstc.jp/access/index.html>)

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー503A～D TEL：03-6888-8070

JR 東京駅 新幹線専用改札口（日本橋）より徒歩 1 分、

八重洲北口改札口より徒歩 2 分

日時：2012 年 1 月 29 日（日曜）13 時から 16 時

テーマ「産婦人科医療における格差是正に向けて」

- 産婦人科医療提供体制における地域間格差の現状を共有する。
- 医学生・初期臨床研修医に対する、働きかけの現状と課題を明らかにする。
- 若手産婦人科医の、地域間施設間偏在への対策を検討する。

● 議事次第：

➤ 司会：斎藤 滋 若手育成委員会委員長・澤 倫太郎 医療改革委員会副委員長

➤ 挨拶

◇ 日本産科婦人科学会 岡井 崇 副理事長

◇ 厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課 泉 陽子 課長

◇ 厚生労働省医政局指導課救急周産期医療等対策室 佐久間 敦 室長

➤ 第 1 部：13:00-13:45：基調報告

◇ 「産婦人科医数の現状等について」：医療改革委員会 海野信也

◇ 「婦人科腫瘍診療に関するアンケート調査報告」：医療改革委員会 高倉 聡

◇ 「産婦人科勤務医の就労環境と編在－日本産婦人科医会調査から」日本産婦人科医会常務理事 中井章人

◇ 質疑応答

➤ 第 2 部：各地域からの報告：13:45-15:00

◇ 「岩手県周産期医療情報システム（いーはとーぶ）による地域連携－東日本大震災の経験を踏まえて－」 岩手県立大船渡病院副院長 小笠原敏浩

◇ 「秋田の現状：離れられない、学べない」 秋田大学医学部附属病院周産母子センター准教授 熊谷 仁

◇ 「埼玉県の大学病院における妊産婦の問題点」 防衛医科大学校産科婦人科教授 古谷健一

◇ 「長崎における医師確保の取りくみ」 佐世保市立総合病院産婦人科医長 三浦清徳

◇ 「熊本大学における医学生・初期臨床研修医に対する働きかけの紹介～東洋医学と産婦人科診療との関連性の提示を通じて～」 上天草市立上天草総合病院産婦人科部長 姫野隆一

◇ 討論：15:00-16:00

● 備考

➤ 本拡大委員会は、公開フォーラムとして開催する。

➤ 報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を歓迎する。

➤ 本拡大委員会の記録は、動画形式で海野班ホームページに掲載する。